

和歌山市のまちづくり会社や団体をつなぐBONDとしての活動を広げ、まちなか再生推進を加速させたい！

Basic information

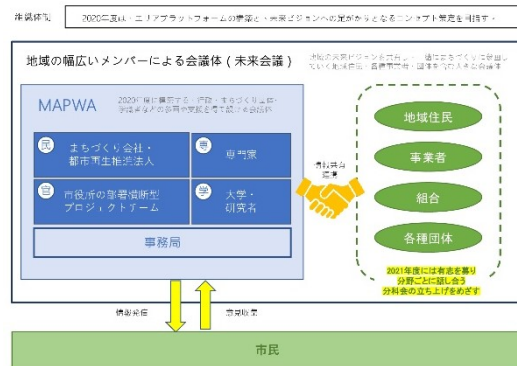
法人設立年月日	2016年（法人化）
指定年月日	2017年
資本金等	1,200千円
株主・構成団体等 （出資割合）	
職員数	3名（うち理事3名）

Project

■ 国土交通省官民連携まちなか再生推進事業受託

官民の多様な人材が参画するエリア
プラットフォームの構築を目的とする
国土交通省の事業を代表法人として受託。

2020年度においては、今後の未来ビジョンや計画の基礎となるコンセプト策定し、2021・2022年度はそれを元に、地域の住民、事業者、団体と課題や今後の目標を共有することを目指し、社会実験等を他推進法人と共同開催している。



MAPWA

まちづくりエリアプラットフォーム和歌山
Think about NEXT Wakayama 30years Vision

和歌山市は串社会の進行や市街地の無秩序な拡大により、中心市街地の空洞化が著しく進んでいます。人口が減少し、少子高齢化が進む中で、このままではインフラ整備にかかる費用が大きくなりすぎ、いずれ維持していくことが難しくなるでしょう。つまり、地域によってサービスの格差が生じたり、生活の質が落ちていくことが予想されます。

持続可能なまちを創っていくためには、行政に頼るだけでなく、この問題についてより多くが自分ごととして捉え、皆で和歌山市の将来ビジョンを共有し、それに向けて出来る行動を起こしていく事が必要です。

海、山、川といった美しい自然環境がまちなかから20分圏内にあり、都市と自然の良さをどちからも日常的に楽しめるまち、和歌山市。海の幸、山の幸、フルーツも豊富な食材の宝庫。サーフィンや釣り、山歩きなど自然を楽しむアクティビティ、ゆったりと流れる時間、暮らしへの心地よさ、自然の恵みを感じながら、クリエイティブに遊ぶと和歌山らしい暮らしははぐみく30年後、2050年日本でも数多く見たいまち和歌山を一緒につくりましょう！

1000

MAPWA は和歌山市において、中心市街地に「住・遊・学・商」といった多様な機能を集中し、歩いて楽しい魅力的な和歌山市の顔をつくることを目的とした、住民主体の地域づくりを推進するためのプラットフォームです。

Concept image:
"Dual Life V
と二重生活

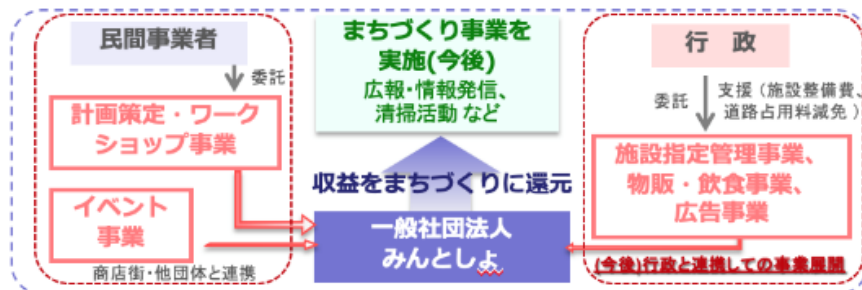
Action
MAPWAでは、2020年度に、地域の課題を共有し、今後まちづくりについて考えていく人たちからなる地域住民・事業者等の集まりとして「未来会議」を開催します。また2021年度には、テーマごとに研究、検討を重ねていく分科会を定期的に開催していきます。さらにミーティング内容や活動(イベント、協議会)等の情報発信も行います。

■ 法人の紹介

中心市街地のまちづくりに関するビジョン策定のためのプラットフォームを代表法人として運営。ビジョン策定のためのイベント、社会実験等を企画、運営。
(国交省官民連携まちなか再生推進事業を受託)
また、一級建築士2名、イベントを得意とする1名で構成され、空き店舗の活用を設計からイベント運営までサポートができる。

■ 事業体制

民間の建築計画における計画策定補助やワークショップを行っている。
また、行政のまちなか活性につながる事業も受託している。
今後は、活動エリアのブランディング、コンテンツ誘致を目的とした
事業を展開していきたい。



■活動エリア

活動の中心は、和歌山市駅～ぶらくり丁商店街～和歌山城に囲まれた中心市街地の中央で、問屋街として栄えた地域であるが、現在コンテンツが空洞化し空き店舗が多いところである。

近年飲食店が増えてきているが、昼間人口が少なく、また長時間滞在する程のコンテンツがないため、このエリアに文化的、商業コンテンツを増やしたいと活動している。



Next

活動エリア内の店舗運営支援（計画・設計含む）や広報の支援等を行っており、今後は前面道路の活用、周辺店舗との協力によるエリア活性化のためのイベント等開催を目指す。また、自主事業として始めた無人冷凍品販売（フードロスを目的とした廃棄予定商品の再販事業）のニーズを確かめて、規模拡大を目指す。